

IV サブWG検討結果3：次期ACL業務

2014年11月14日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

ACL業務のこれまでの経緯

1999年

SeaNACCS
更改 (第2次)

2010年

Sea NACCS
更改 (第3次)

2012年

2017年

NACCS更改
(第6次)

ACL01

船積確認事項登録
(コンテナ船用) 提供開始

ACL02

船積確認事項登録
(在来船用) 提供開始

利用が進んで
いない

ACL03/04で新たに追加した機能

- ① Sea Waybillドラフト
および運賃請求情報の通知機能
- ② Pay-easyによる運賃の
電子決済機能
- ③ Sea Waybill情報を
NACCSから提供する機能

ACL03

船積確認事項登録
(コンテナ船用)
(SWB用)

ACL04

船積確認事項登録
(在来船用) (SWB用)
提供開始

ACL01

ACL情報登録
(コンテナ船用)

ACL02

ACL情報登録
(在来船・自動車船用)

廃止

1. A C LサブWGにおける検討結果（1）

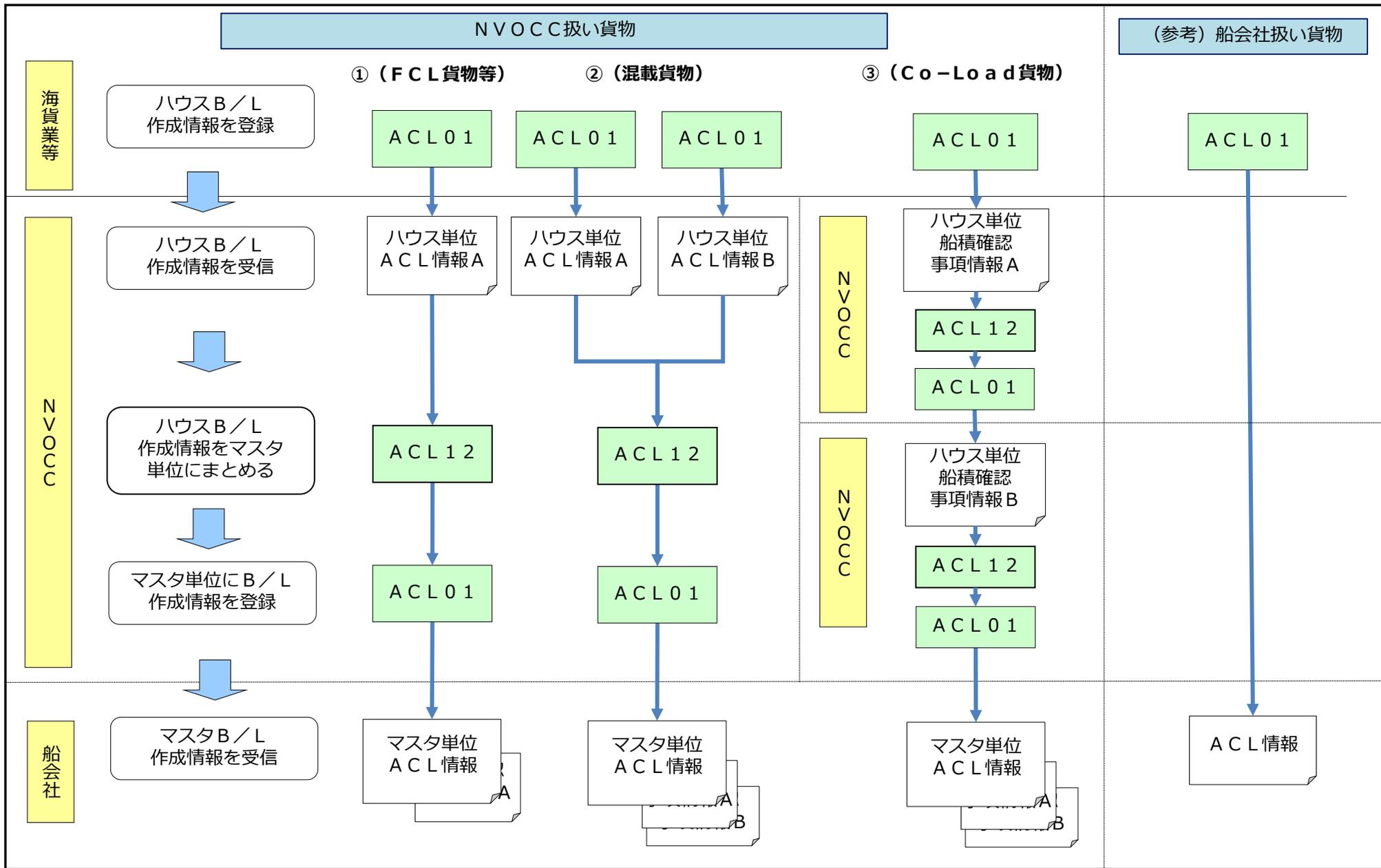
A C Lサブワーキングについては、2014年8月から4回にわたって開催し、以下のとおり取り纏めを実施した。

項番	項目	内容																					
1	主な検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現行A C L業務におけるN V O C C扱いの業務処理（フロー）が実態と乖離していないか、サブWGにおいて確認を行い、概ね「<u>資料1</u>」のとおりであることが確認された。 ・S I R等サブワーキングにおいて、S I R（船積指図書（S / I）情報登録業務）をA C L業務の上流情報として位置付け、S I Rの項目をA C Lに合わせる方向で検討を行うことを決定。（詳細はS I R等サブWGの結果報告参照。なお、S I RをA C Lの先行業務として必須化するものではない。） ・2012年3月に、SeaWaybill作成用として新たにA C L 0 3、A C L 0 4業務がリリースしているが、A C L 0 1、A C L 0 2との関係が整理されていないとの指摘を踏まえ、下記2. のとおり整理を行った。 ・A C L 0 3、A C L 0 4のリリースに併せて運賃決済を目的とした決済業務の提供を開始しているが、即時性がない等の理由から利用が進んでいないため、第6次における対応を下記3. のとおり検討した。 ・A C L業務に関するプログラム変更要望について検討を行った。（検討結果は「<u>資料2</u>」参照） 																					
2	A C L業務の統廃合及び名称変更	<ul style="list-style-type: none"> ・現行A C L 0 1及びA C L 0 2は廃止し、現行A C L 0 3を新A C L 0 1、現行A C L 0 4を新A C L 0 2とする見直しを実施する。 ・現行A C L「船積確認事項登録」の業務名を「A C L情報登録」に変更する。 （注：A C L = Acknowledgement of Cargo Loading） ・A C L 0 2業務の業務名に「自動車船用」を追加する。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務コード</th> <th>現行業務名</th> <th>第6次業務名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A C L 0 1</td> <td>船積確認事項登録（コンテナ船用）</td> <td>A C L情報登録（コンテナ船用）</td> </tr> <tr> <td>A C L 0 2</td> <td>船積確認事項登録（在来船用）</td> <td>A C L情報登録（在来船・自動車船用）</td> </tr> <tr> <td>A C L 1 1</td> <td>船積確認事項登録呼出し</td> <td>A C L情報呼出し</td> </tr> <tr> <td>A C L 1 2</td> <td>船積確認事項登録（ハウス単位）呼出し</td> <td>A C L情報登録（ハウス単位）呼出し</td> </tr> <tr> <td>I A L</td> <td>船積情報照会</td> <td>A C L情報照会</td> </tr> <tr> <td>I A C</td> <td>船積情報登録状況照会</td> <td>A C L情報登録状況照会</td> </tr> </tbody> </table>	業務コード	現行業務名	第6次業務名	A C L 0 1	船積確認事項登録（コンテナ船用）	A C L情報登録（コンテナ船用）	A C L 0 2	船積確認事項登録（在来船用）	A C L情報登録（在来船・自動車船用）	A C L 1 1	船積確認事項登録呼出し	A C L情報呼出し	A C L 1 2	船積確認事項登録（ハウス単位）呼出し	A C L情報登録（ハウス単位）呼出し	I A L	船積情報照会	A C L情報照会	I A C	船積情報登録状況照会	A C L情報登録状況照会
業務コード	現行業務名	第6次業務名																					
A C L 0 1	船積確認事項登録（コンテナ船用）	A C L情報登録（コンテナ船用）																					
A C L 0 2	船積確認事項登録（在来船用）	A C L情報登録（在来船・自動車船用）																					
A C L 1 1	船積確認事項登録呼出し	A C L情報呼出し																					
A C L 1 2	船積確認事項登録（ハウス単位）呼出し	A C L情報登録（ハウス単位）呼出し																					
I A L	船積情報照会	A C L情報照会																					
I A C	船積情報登録状況照会	A C L情報登録状況照会																					

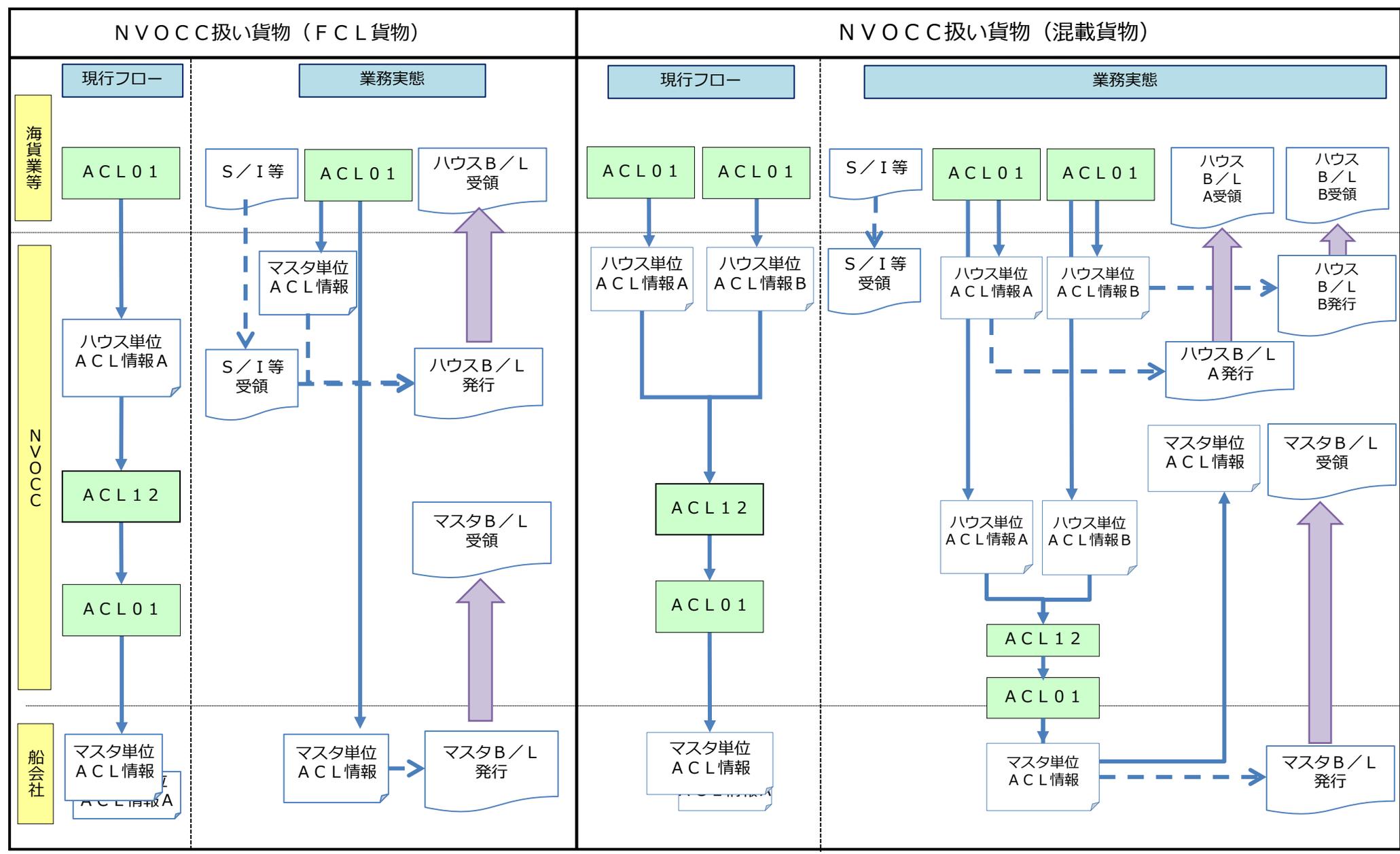
1. A C LサブWGにおける検討結果（2）

項番	項目	内容																								
3	決済関連業務の廃止	<p>・現行決済業務については、即時性が無いことが大きな課題となっており、この課題が解決されない限り利用が進まない可能性がある。基本仕様提案以降、即時性を持つ決済機能について検討を進めてきたが、現時点では現行以上の決済機能を提供可能とすることは難しい状況にある。従って、現行決済機能のままで提供しても将来的に利用拡大が進むとは考えられないことから、第6次NACCSにおいては、決済業務の提供は廃止することとする。</p> <p>なお、決済機能の廃止により、以下の業務が廃止対象となる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>業務コード</th> <th>業務名</th> <th>業務コード</th> <th>業務名</th> <th>業務コード</th> <th>業務名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>W B I</td> <td>SWB確定通知</td> <td>P A S</td> <td>支払選択登録</td> <td>I W B</td> <td>SWB情報照会</td> </tr> <tr> <td>W B I 1 1</td> <td>SWB確定通知呼出し</td> <td>P A S 1 1</td> <td>支払選択登録呼出し</td> <td>I I S</td> <td>SWB請求情報一覧照会</td> </tr> <tr> <td>W B S</td> <td>SWB情報通知</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	業務コード	業務名	業務コード	業務名	業務コード	業務名	W B I	SWB確定通知	P A S	支払選択登録	I W B	SWB情報照会	W B I 1 1	SWB確定通知呼出し	P A S 1 1	支払選択登録呼出し	I I S	SWB請求情報一覧照会	W B S	SWB情報通知				
業務コード	業務名	業務コード	業務名	業務コード	業務名																					
W B I	SWB確定通知	P A S	支払選択登録	I W B	SWB情報照会																					
W B I 1 1	SWB確定通知呼出し	P A S 1 1	支払選択登録呼出し	I I S	SWB請求情報一覧照会																					
W B S	SWB情報通知																									
4	プログラム変更要望	<p>A C L業務に対するプログラム変更要望の対応可否については、資料2のとおりとする。</p> <p>主なプログラム変更は以下のとおり。（「資料3」参照）</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 重量等不一致チェックについて <ul style="list-style-type: none"> ・共通部のグロス重量／容積と、繰返部（C L P）の各コンテナの重量／容積の合計を比較し不一致の場合はワーニング対応とする。 ② 通知先欄の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・通知先を最大4欄から5欄へ拡大 ③ 入力者情報項目の追加 <ul style="list-style-type: none"> ・A C Lを入力した会社名を追加 ④ 記号番号欄のレイアウト変更 <ul style="list-style-type: none"> ・現行35桁×4行（繰返90）の記号番号欄について、欄の拡大を図る。 																								
5	電子ファイル添付登録可能化	<p>基本仕様において提案を行ったアタッチシートの電子ファイル添付化については、自社システムでの取り込みが困難等の意見が大勢を占めたこと、また、自社システム対応を考慮しテキスト形式のみに限定することも考えられるが、全体におけるカバー率を考えると費用対効果の問題があることからWGでは本提案は実施しないこととした。（「資料4」参照）</p>																								

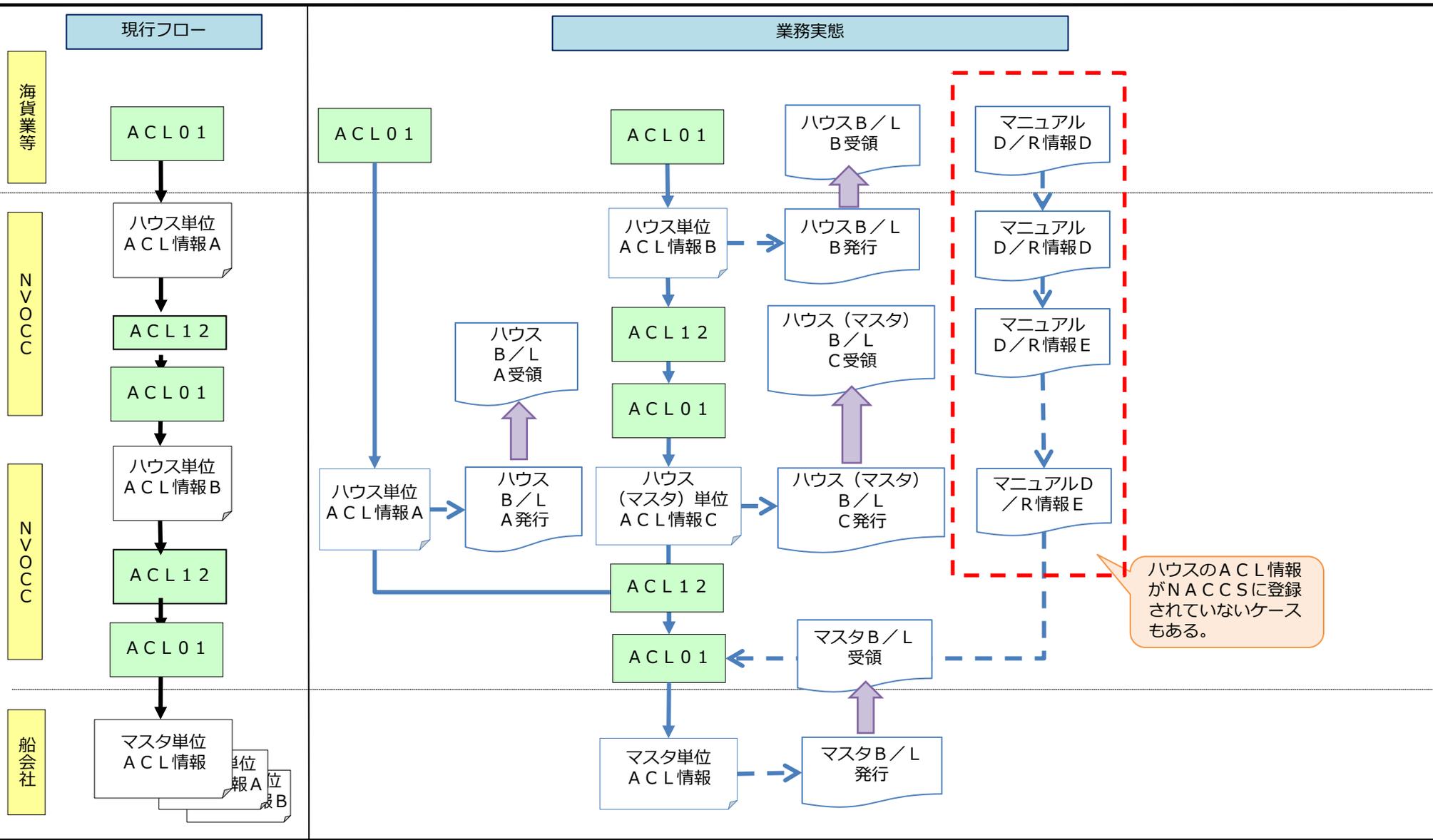
資料1. NVOCC扱い貨物に係るACL業務フロー（全体概要）



資料 1-2. NVOCC扱いACL業務フロー（FCL・混載貨物）



NVOCC扱い貨物 (Co-Load貨物)



資料2. A C L 関連業務プログラム変更対応一覧 (1)

	プロ変 項番	業務コード	要望元	変 更 要 望 内 容	検討状況	実施 可否
1	海上 5	A C L 0 1	日海貨	バンニング情報の登録の際に入力している項目（バンニング個数、荷姿、重量、容積）についても同様に補完してほしい。	A C L 1 1 では輸出管理番号から貨物情報の呼出しを可能としているが、1つのコンテナに複数の輸出管理番号がリンクされているケースがあることから対応困難。	×
2	海上 6	A C L 0 1	外船協	船会社が発行するMaster B/L No.を記載出来る欄を増やしてほしい。AMS及び10+2でブッキング時に船会社から発行されたMaster B/LがどのS/Iに合致するのか確認したい。	Master B/L欄の入力欄を追加。	○
3	海上 7	A C L 0 1	外船協	着荷通知先住所電話番号・荷受人住所電話番号の欄は105桁であるため、50桁増やしてほしい。	荷送人、荷受人、着荷通知先の住所・電話番号欄について70桁を追加し175桁とする。	○
4	海上 8	A C L 0 1	日海貨	荷姿コード“PP”の明細が「PALLET&PACKAGE」と表示されるため、「PALLET」と表示してほしい。	荷姿コードは他業務でも参照するコードとなっており、本業務のみの変更はできない。	×
5	海上 9	A C L 0 1	日海貨	SHIPPER, CONSIGNEE, NOTIFYの名前、住所が分かれるため、当該欄についてまとめて出力するようにしてほしい。	米国AMS等、海外向けマニフェスト情報において名称欄と住所欄を分けて求められるケースがあることから分割での提示とする。	×
6	海上 10	A C L 0 1	日海貨	「運賃協定払い」欄等項目が無い所に表示されるものがあるため、項目を出力してほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
7	海上 11	A C L 0 1	日海貨	個数・グロス重量・容積が2ヶ所あるので1ヶ所にしてほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
8	海上 12	A C L 0 1	日海貨	ケースマークについて、5行目で改頁するため、15行目まで増やしてほしい。	記号番号欄を20行に拡大。	○
9	海上 13	A C L 0 1	日海貨	共通部2のグロス重量について桁数を13桁にしてほしい。	海上合同WG「貨物重量項目の桁数拡大」の検討に合わせた対応とする。	△

資料2. A C L 関連業務プログラム変更対応一覧 (2)

項番	プロ変項番	業務	要望元	検討事項及び意見等	検討内容 (回答)	実施可否
10	海上14	A C L 0 1	日海貨	B O O K I N G 番号を複数欄設けてほしい。	A C L 業務はブッキング番号単位に処理する仕組みを提供していることから、複数のブッキング番号欄を設けることは困難。	×
11	海上15	A C L 0 1	日海貨	シール番号欄を4欄にしてほしい。	シール番号欄を1欄追加し4欄に変更。	○
12	海上16	A C L 0 1	日海貨	M A R K の幅を増やしてほしい。	桁数についてはE D I F A C T 電文上の制限もあることから、35桁とし、行数を増やすことで記号番号欄の拡大に対応する。	×
13	海上17	A C L 0 1	日海貨	内個数を10個くらいに増やしてほしい。	内個数の入力欄を追加し10欄とする。	○
14	海上18	A C L 0 1	日海貨	S H I P P E R C O N S I G N E E , N O T I F Y P A R T Y 欄についてスペースを増やしてほしい。	荷送人、荷受人、着荷通知先の住所・電話番号欄について70桁を追加し175桁とする。	○
15	海上19	A C L 0 1	日海貨	項目内で改行を行う際、スペースキーを利用しているが、入力時間を短縮するためE N T E R キーでの改行ができるようにしてほしい。	N A C C S システム全体のE D I 電文仕様で改行 (E N T E R キー) が項目間の区切り文字となっているため、項目内に改行を含むことができない。N A C C S パッケージ全体の仕様に係る事項であり、A C L 業務のみの対応は困難。	×
16	海上20	A C L 0 1	日海貨	複数のA C L データは代表1件目のみに総件数を通知するようしてほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
17	海上21	A C L 0 1	個別	船積確認事項登録 (コンテナ船用) (A C L 0 1) 業務の重量欄について重量単位を「K G」入力する欄の入力桁数 (整数部6桁) を増やしてほしい。	海上合同WG「貨物重量項目の桁数拡大」の検討に合わせた対応とする。	△
18	海上22	A C L 0 1	個別	バンニング情報登録前に仮登録したA C L 情報について、バンニング情報登録後に呼出しを行うと、「個数」、「荷姿」、「グロス重量」等のコンテナ情報が補完されないので、これらの情報を補完するようしてほしい。	補完は入力があったときにのみ行う仕様としている。情報が入力されていた場合に当初の情報を上書きしてよいのか、システムで判断できないため対応しない。	×

資料2. A C L 関連業務プログラム変更対応一覧 (3)

項番	プロ変項番	業務	要望元	検討事項及び意見等	検討内容 (回答)	実施可否
19	海上23	A C L 0 1	個別	船積確認事項登録 (A C L) 業務におけるカスタマイズ帳票は、共通項目の部分とコンテナ情報等の部分では、テンプレートを1ページに集約することもできない。また、コンテナ情報のページにブックキング番号等のキー項目を表示することができないため、カスタマイズ帳票のテンプレートを1つにまとめてほしい。	カスタマイズ機能の制約上対応は困難。	×
20	海上24	A C L 0 3 / 0 4	個別	船積確認事項登録 (A C L 0 3、A C L 0 4) 業務について、荷送人、荷受人、着荷通知先、記号番号及びシール番号欄の入力項目の文字数、桁数を増やし、入力欄についても追加してほしい。また、A C L 0 3、0 4では、輸出申告番号からの情報呼び出しやC Y・C F S欄の通知等、A C L 0 1、0 2にある機能がなくなっているため、機能を追加してほしい。	荷送人、荷受人、着荷通知先の住所・電話番号欄について70桁を追加し175桁とする。 C Y・C F S欄の通知機能を設ける。	○
21	海上44	I A L	個別	船積情報照会 (I A L) 業務の照会結果に、A C L 0 1、0 2業務の送信履歴を出力してほしい。	送信履歴を5件出力する。	○
22	海上45	I A L	個別	船積情報照会 (I A L) 業務による照会結果に、通知先コード1、2が表示されないので、出力してほしい。また、A C L 仮登録でも照会が可能となるようにし、仮登録状態か本登録状態か、取り消し状態かを区別できるようにしてほしい。	出力情報に通知先と登録の区分を追加。	○
23	海上81	A C L 0 1	J I F F A	荷送人等の名称、住所電話番号欄の改行が35桁であり、J I F F A 標準では48桁 (10pt) 改行ため、名称欄のずれが生じてしまう。改行桁数について検討を行ってほしい。	E D I F A C T 電文上の制約から、35桁での改行が望ましいため対応しない。	×
24	海上82	A C L 0 1	J I F F A	F A X 番号 (任意項目 3 欄) の運用をやめてほしい。 (要望理由) 海貨業者が船会社に直接 A C L 情報を海貨 F A X 番号を入れて送信した場合、運賃情報が本来受け取るべき N V O C C 以外の社に漏れてしまうため。	運用上 F A X 番号の利用が欠かせないとの意見があり、項目の削除は困難。	×

資料2. A C L 関連業務プログラム変更対応一覧 (4)

項番	プロ変項番	業務	要望元	検討事項及び意見等	検討内容 (回答)	実施可否
25	海上83	A C L 0 1	J I F F A	A C L 情報を受け取る側の保税蔵置場で、通知先コードを誤って本来の搬入先でない蔵置場に送信される場合があるため、チェック機能を設けるか誤送信先が誤送信であることを知らせるような仕組みを作ってほしい。 (要望理由) 誤って送信されると、実際の貨物と情報が一致していない状況が放置される状態となるため。	誤送信を通知する仕組みを新たに設けることは困難であるため対応はしない。 次期では送信後に通知先情報を確認できるよう、帳票に通知先情報を出力する。	×
26	海上84	A C L 0 1	J I F F A	J E T R A S のライセンス取得有無がわかるような欄を設けてほしい。 (要望理由) 香港で船卸の際にライセンスの確認が必要であるが、輸出許可書には記載があるが N V O C C には分からないため危険品同様に欄を設けてほしい。	要望元にて対応不要との確認済。	×
27	海上85	A C L 0 1	個別	繰返部のコンテナ情報にフラットラックコンテナのオーバーワイド、オーバーハイの欄を設けてほしい。 (要望理由) 現状欄がないため記事欄に入力している。 フラットラックが複数本のときに桁数が不足する場合があるため。	記事欄の行数を追加する。現状通り記事欄での運用とする。	×
28	海上86	A C L 0 1	個別	禁止文字「_ (アンダーバー)」を使用可能としてほしい。 (要望理由) メールアドレスの入力を希望する荷主が近年増えており、「_」が含まれている場合アタッチにする必要がある。	「_ (アンダーバー)」を使用可能とするには「_」を含む属性「sn」の文字(英小文字、\$、¥等35文字)すべてを入力可能としなければならない、船会社側で対応できないとの要望があり、対応は困難。	×
29	海上87	A C L 0 1	個別	船舶コード(コールサイン)を入力した場合にリアルタイムで船舶名称が確認できないか。 (要望理由) キー項目であるため訂正が出来ず、再送信となり手間であるため。	開発規模が大きいため、対応は困難。	×
30	海上88	A C L 0 1	J I F F A	繰返部に車台番号、エンジン番号以外に実務上シャーシごとのL W H が必要なので、入力欄を設けてほしい。	要望を踏まえヒアリングを行った結果、新車を扱う社においてL W H の情報を紙媒体でやり取りする運用を行っており、A C L の入力項目化に対応できないことから反対との意見があるため、対応はしない。	×

資料2. A C L 関連業務プログラム変更対応一覧 (5)

項番	プロ変項番	業務	要望元	検討事項及び意見等	検討内容 (回答)	実施可否
31	海上89	A C L 1 2	J I F F A	数量の合計はできるが、品名と記号番号の合計が出来ず中途半端で現状使用している社がない。コンテナマニフェストのような情報にまとめられるようにしてほしい。	A C L 0 1 の変更に合わせて必要な変更を行う。	×
32	海上90	A C L 1 2	J I F F A	F C L の数量や品名はそのままに荷送人等情報だけ M a s t e r B / L 情報に書き換えて送信できる機能を検討してほしい。 (要望理由) F C L の貨物を N V O C C で扱う機会が増えており、A C L 1 2 で送信する機能があればよい。	A C L 0 1 の変更に合わせて必要な変更を行う。	×
33	海上147	A C L	WG委員	現行の A C L 業務では「記号番号」欄が4行(140桁)しか入力できないため、アナログ的に記号番号のみ紙に複写して、船会社、C Y 等に F A X している。 記号番号欄の桁数を拡大するか、添付機能を追加してほしい。	記号番号欄を20行に拡大。	○
34		A C L 0 1	日海貨	W a y b i l l 同様に S U R R E N D E R のボタンを追加してほしい。	正式な船積書類として認められていない側面もあることから、対応はしない。	×
35		A C L	事務所個別	記号番号欄及び品名欄に「SEE ATTACHED SHEET」と手入力された場合、エラーまたは注意喚起メッセージ出してほしい。	記号番号欄、品名欄に2欄以上入力があった場合の出力メッセージを「SEE ANOTHER ACL DATA」に変更し、エラー対応はしないこととする。	×
36		A C L	サブWG委員	重量・容積等の不一致 D o c k R e c e i p t に当たる項目と C L P に当たる項目で数字に相違がある場合、送信時にエラーメッセージ等を表示して欲しい。 海貨業者へ確認を行うとタイピングエラーが主な原因である。 海貨業者側も S a v e 出来ない等の改良があれば助かるとの意見である。 このシステムチェック機能があると海貨・船会社とも助かる。	共通部のグロス重量、容積と繰返部の各コンテナの重量、容積の合計について不一致判定を行う仕組みを設ける。	○
37		A C L 0 1	日海貨	送信後の印刷でも、通知先を表示してほしい。	出力帳票に通知先を追加する。	○

サブWGにおいてはプログラム変更要望をもとに、特に要望が多かった以下の事項について具体案を提示し検討を行った。

新たに設ける機能

重量等不一致チェックについて

共通部のグロス重量／容積／個数と、繰返部（CLP）の各コンテナの重量／容積／個数の合計を対象とした比較と不一致判定をシステム上を行い、送信時に注意喚起する変更を行う。

- ① 重量／容積は単位、個数においては荷姿が異なる場合は不一致判定の対象としない
- ② ワーニングでの対応とする

入出力項目関連

①通知先欄の追加

	1	2	3	4	5
現行	船会社 (NVOCC)	CY・CFS	通知先1	通知先2	—
次期	船会社 (NVOCC)	<u>通知先1</u> <u>(CY・CFS)</u>	通知先2	通知先3	<u>通知先4</u>

②入力者情報項目の追加

	追加入力項目	条件	桁数		追加出力項目	条件	桁数
①				➔	会社名（欧文）	M	70
②	担当者名	C	70		担当者名	C	70
③	電話番号	C	35		電話番号	C	35

③記号番号欄のレイアウト

現行35桁×4行（繰返90）の記号番号欄について、欄の拡大を図る。

サブWGにおける意見集約結果

社名 団体名	可否	形式（条件）	理由
A	×	—	自社において取り込みの仕組みを作りこむことができない。
B	×	—	現行に満足している。
C	×	—	自社において取り込みの仕組みを作りこむことができない。
D	△	テキスト (Word/Excel)	WordやExcelなどのテキストファイルであれば検討の余地あり。PDFについては反対。システムの変更が必要になるため。
E	△	テキスト	B/L発行の簡略化が求められている昨今、日本のアタッチシートの概念を変更することが今後に向けての重要な課題となる。輸入マニフェストの迅速性を求める上でも、この流れはグローバルで止めることはできない。また、セキュリティの観点からWordやExcelの添付もウイルスを含む危険性が考慮される。添付の際はテキストファイルの添付のみを可能とすることを希望する。
F	○	テキスト	テキストファイルでもらえればB/L作成業務の効率化となる。
G	○	テキスト (Word/Excel)	海貨業者からのアタッチシートの送付忘れが多く、アタッチシートの回収にかなりの時間を費やし、B/L作成が遅れてしまう。現行のFAXやPDFで送付されてくるアタッチシートはかなり不明瞭なものが多く、電子ファイル添付が実現した場合には、Excelシート、Wordでの送信を希望する。できるのであれば、アタッチシート以外の必要書類も同時に添付できれば更に使い勝手が良くなる。
H	○	—	現状ACL電文とアタッチシート（メール添付、FAX）が別々で着信することから、業務が煩雑になっている。
I	○	—	MSA、MSB業務と同じようにPDFファイルを使いその出力ができるか？

- ・ACLの本来の目的である「B/L情報としての利用価値」という点に着目すると、アタッチシート添付可能化としてもテキスト形式に機能を限定する必要がある。
- ・テキスト形式のみ添付可能としても、現在アタッチシートとして送信されている情報をカバーできる割合は低いと考える
- ・船会社間のアタッチシート運用の分化
- ・費用対効果の観点



ACL業務におけるアタッチシートの電子ファイル添付化については対応しない。